

～ 在籍校で作成する提出書類について ～

調査書等とともにこの書類も担任の先生に必ず渡してください。
(小学校等へ令和7年12月上旬までに、調査書の作成依頼を行ってください。)

志願手続は保護者が行うこととなっておりますが、調査書等の提出が必要となりますので、次の事項に御留意いただき作成してください。

1 志願児童全員の提出書類

【第2号様式 調査書（横浜市立南高等学校附属中学校）】

- (1) 「学籍の記録」へは、「児童指導要録」の通り転記してください。
- (2) 「各教科の学習の記録」の「第5学年の欄」へは、「児童指導要録」の各教科の評定を、「3・2・1」の3段階で記入してください。
- (3) 「各教科の学習の記録」の「第6学年の欄」へは、4月から12月までを対象とした評価を行い、各教科の評定を、「3・2・1」の3段階で記入してください。
- (4) その他調査書の記載方法については、チェックリストを参照してください。
- (5) 小学校等の名称が書かれた長形3号封筒に調査書を入れ、封緘印を用いて厳封の上、児童・保護者に交付してください。その際、開封した場合は無効であることを伝えてください。(調査書は折り曲げ可)
- (6) 記載・証明日は12月の課業最終日以降とし、願書受付期間(令和8年1月6日(火)～1月8日(木))に間に合うように児童又は保護者に渡してください。
- (7) 「受領書」の発行は行いません。あらかじめ御了承ください。

2 該当児童のみの提出書類

【第3号様式 入学志願資格承認及び学区確認申請書（横浜市立南高等学校附属中学校）】

入学志願資格承認及び学区確認申請が必要な児童とは

- ア 令和8年4月1日までに、神奈川県外から県内に転居を予定している者
- イ その他、特別な事情がある者

【第5号様式 学区確認申請書（横浜市立南高等学校附属中学校）】

学区確認申請が必要な児童とは

- ア 令和8年4月1日までに、県内で転居（横浜市内から市外又は市外から市内）を予定している者
- イ 志願者と保護者の住所が、在籍する公立小学校や公立義務教育学校の所在地と異なる地域（横浜市の内外）の者

※第3号様式、第5号様式は、確認申請期間（令和7年12月1日（月）～12月19日（金））に間に合うように児童又は保護者に渡してください。

【第7号様式 海外からの移住者等を保護者とする志願者の受検方法等申請書（横浜市立南高等学校附属中学校）】及び【第8号様式 受検方法等申請書（横浜市立南高等学校附属中学校）】

特別な事情がある児童（海外からの移住者等を保護者とする者や、障害等により特別な受検方法等を必要とする者）が受検する場合に、必要になるものです。

※志願者及び保護者から申請の相談、副申欄の記入依頼がありましたら、速やかに横浜市立南高等学校附属中学校(045-822-9300)に御連絡いただきますようお願いいたします。

※第7号様式、第8号様式は、願書受付期間（令和8年1月6日（火）～1月8日（木））に間に合うように児童又は保護者に渡してください。

～ チェックリスト ～

調査書等とともにこの書類も担任の先生に必ず渡してください。
(小学校等へ令和7年12月上旬までに、調査書の作成依頼を行ってください。)

学校で調査書作成時に必ず御確認ください

☐ 調査書の記入に、消せるボールペンは使用していない。

(学籍の記録)

☐ 児童指導要録から転記されている。

☐ 児童氏名・フリガナ・性別

☐ 生年月日

☐ 現住所（特に番地の記載内容）

☐ 現在籍校への入学等の年月

☐ 入学、転編入へのレ点（転編入の場合はその学年）

☐ 卒業（見込）年月

(各教科の評定)

☐ すべての教科の評定欄に記載がある。

(※評定欄に空欄がある場合は斜線が引かれている。)

☐ 記載者氏名と押印がされている。

(学校長の証明)

☐ 証明年月日は、12月の課業最終日以降の日付になっている。

☐ 以下の記入、押印漏れはない。

☐ 郵便番号

☐ 住所

☐ 学校名

☐ 電話番号

☐ 校長氏名

☐ 職印

(全て確認後)

☐ 調査書を入れる封筒は長形3号を使用し、小学校等の名称が記載されている。

☐ 封筒は、封緘印を用いて厳封している。

詳しくは、「受検案内」又は「令和8年度横浜市立南高等学校附属中学校の入学者の募集及び決定に関する要項」を御覧ください。なお、各種様式は、横浜市教育委員会事務局学校教育課のホームページよりダウンロードも出来ます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/hischool/tekiseikensa.html>

御不明な点は、横浜市教育委員会事務局学校教育課(045-671-3272)へお問い合わせください。

【調査書記入の見本】

第2号様式

調査書は、小学校等の名称が印刷された長形3号封筒に入れ、封緘印を用いて厳封してください。(折り曲げ可)

受検番号※

(※この欄には記入しない)

調 査 書

志願先

横浜市立南高等学校附属中学校

(注)

- ① 「各教科の学習の記録」の「第5学年」の欄へは、「児童指導要録」の各教科の評定を、「3・2・1」の3段階で記入する。
- ② 「各教科の学習の記録」の「第6学年」の欄へは、第6学年の4月から12月までを対象とした評価を行い、各教科の評定を、「3・2・1」の3段階で記入する。
- ③ 現在籍校への入学等の欄は、現在籍校に入学または転編入学した年月等を記入する。
入学・転入学・編入学のいずれかの□に✓印を記入し、転入学、編入学については、その学年を記入する。
- ④ 誤記訂正の場合は、誤記載箇所にも二重線を引き「記載者氏名」横に押印した印と同じ印を用いて押印する。
- ⑤ ※の欄には記入しない。

学籍 の 記 録	フリガナ	●●●● ●●●●	性別	
	児童氏名	●●●● ●●●●		
	生年月日	平成 ●●年 ●●月 ●●日		
	現住所	横浜市●●区●●町●●番地●●		
	現在籍校への入学等	☒ 入学 ☒ 第●●学年 転入学 ☐ 第●●学年 編入学		
	卒業	令和 ●●年 ●●月 卒業(修)		

「児童指導要録」の通り転記してください。

消せるボールペンは使用しないでください。

「児童指導要録」の通り転記してください。

転入学・編入学については✓及び学年を記入します。

教科	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語
第5学年	●					●	●		
第6学年	●	●	●	●	●	●	●		

「児童指導要録」の各教科の評定を、「3・2・1」の3段階で記入してください。

誤記訂正の場合はここに押印した印と同じ印を使用してください。

12月末現在での第6学年4月から12月までの各評価の評定を、「3・2・1」の3段階で記入してください。

12月の課業最終日以降の日付を記載してください。

記載者氏名

記載者(担任)氏名(ゴム印可)

私印

郵便番号を忘れずに記入してください。

必要事項が記載されていれば、ゴム印可

印

職印

必要事項がすべて記載されているか確認し、裏面のチェックリストにチェック「レ」を入れてください。

受検番号※

(※この欄には記入しない)

調 査 書

志願先

横浜市立南高等学校附属中学校

(注)

- ① 「各教科の学習の記録」の「第5学年」の欄へは、「児童指導要録」の各教科の評定を、「3・2・1」の3段階で記入する。
- ② 「各教科の学習の記録」の「第6学年」の欄へは、第6学年の4月から12月までを対象とした評価を行い、各教科の評定を、「3・2・1」の3段階で記入する。
- ③ 現在籍校への入学等の欄は、現在籍校に入学または転編入学した年月等を記入する。
入学・転入学・編入学のいずれかの□に✓印を記入し、転入学、編入学については、その学年を記入する。
- ④ 誤記訂正の場合は、誤記載箇所にも二重線を引き「記載者氏名」横に押印した印と同じ印を用いて押印する。
- ⑤ ※の欄には記入しない。

学籍 の 記 録	フリガナ				性別
	児童氏名				
	生年月日	平成	年	月	日
	現住所				
	現在籍校への入学等	☐ 入学 平成・令和 年 月 ☐ 第 学年 転入学 ☐ 第 学年 編入学			
	卒業	令和	年	月	卒業(修了)見込

各教科の学習の記録

教科 学年	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語
第5学年									
第6学年									

記載者氏名

印

上記記載事項に相違ありません。

また、当該児童が他の公立の中等教育学校または併設型の中高一貫教育校の中学校に志願しないことを証明します。

令和 年 月 日

学校住所 〒

学 校 名

電 話 番 号

校 長 氏 名

印

